

記事掲載：2023年4月

翻訳：2023年5月

足跡を残す

～2億2200万人の子ども、思春期の若者の教育保障を目指して～



© Education Cannot Wait

2022年を振り返り、2023年について考えるとき、私たちは足跡を残すチャンスに恵まれています。点と点を結び、機会をつかみ、課題を克服することで、私たちは前進し、深化し、拡大し、活動を強固なものにすることができます。私たちの前の何千もの世代がそうであったように。

紀元前3200年、文字の出現は人類に消し難い足跡を残し、知識と学問の面で今日の地位を築きました。ギリシャ・ローマ帝国の成立は、哲学、政治思想、統治に大きな足跡を残し、私たちすべてに影響を与えています。同じように、女性に選挙権を与え、奴隷制を廃止させた大きな社会運動は、歴史の流れを変える道徳的な足跡となり、国連の設立もそうでした。

教育機会について考える際、私たちは、緊急事態や長引く危機の中で最も取り残された子どもたちや思春期の若者にとってだけでなく、まさに崖っぷちにいます。今、私たちは、これまでの進歩をさらに発展させる機

会を得ています。そして、数年後には、すべての人に教育を提供し、それを通じて持続可能な開発目標を達成するための足跡を残すことになるでしょう。

現代の課題は、ポスト COVID-19、気候変動、武力紛争などですが、歴史上、課題に悩まされなかった時代はなく、機会を捉えてそれを好転させ、成果を上げてきたのです。困難があっても、私たちは新たな機会を見出し、それを克服することができるのです。

2022年9月に開催された国連事務総長による教育変革サミットには、世界中から2000人以上が参加し、私たちの人類の未来の一部としての教育が緊急かつ政治的に必要であるという大胆なビジョンを明確にしました。このサミットは、2023年2月に開催され、700人以上が直接参加し、さらに3000人がオンラインで参加したECWのハイレベル増資会合（HLFC）の土台を作りました。HLFCは、世界中の紛争や危機に巻き込まれた子どもや思春期の若者を含む、最も取り残された人々から始めることによるのみ、持続可能な開発目標を達成できることを強調し、その足跡を刻みました。

これらの重要なフォーラムは、今年開催されるグローバル難民フォーラムにつながっていきます。このフォーラムによって、世界の1億人を超える難民の苦境に関心を集め、改めて行動を呼びかけます。

一方、世界中の国会議員は団結し、カナダとフランスが主催した近年のG7サミットを踏まえ、日本が議長国となるG7サミットに対し、政府開発援助による教育協力の保護、優先付け、増額を約束するよう促しました。3月上旬に行われたGPE（教育のためのグローバル・パートナーシップ）とECWの東京への共同視察では、政府、市民社会、その他の戦略的パートナーが、この行動要請に対して積極的に対応しているのを目の当たりにし、刺激を受けました。

さらに、3月の最終週には、[コロンビア](#)への視察で、世界で最も疎外された女の子と男の子への教育を通じて、私たちが足跡を残せることを再び目撃しました。2014年以来、700万人超の難民や移民がベネズエラを離れ、南米の歴史上、過去最大の強制移住となっています。彼らは何ヶ月も何年も学校教育を受けずに過ごしています。これまでに合計1600万米ドル超のECWの支援（教育省、国連、市民社会組織によって実施された人道-開発-平和のネクサスにおける共同プログラム）のおかげで、コロンビアでは6万人超の女の子と男の子が、非公式教育とコロンビアの公教育を通じて学校に復帰しています。

[イザベラ](#)、[イェルミノ](#)、[ジュニア](#)のような女の子や男の子によるレジリエンス（回復力）、エンパワーメント、希望に関する物語は、グローバルレベルでの拠出が、地域レベルで教育機会を生み出すことを証明しているものです。

私たちは、アフガニスタン、サヘル、バングラデシュ、シリア、サブサハラアフリカ、中東、ウクライナ、モルドバに住む女の子たちのために、同じことを行っているのです。私たちの結果を結集し、2億2,200万人の危機的状況にある子どもたちや思春期の若者に接触するために、ECWは更に多くの資金を投じることができますし、そうする必要があります。そのために、私たちは行動を起こす必要があります。更に数百万人の学習者に

手を差し伸べるための貢献の一環として、私たちは共同で、今後 4 年間で少なくとも 6 億 7000 万ドルを動員する必要があります。

私たちには勢いがあります。今月のニュースレターでは、最近 ECW に参加し、2,000 万米ドルの寛大な寄付からスタートしたカタール開発基金の局長 [カリファ・ビン・ジャシム・アル・クワリ](#) のハイレベル・インタビューをお届けします。このインタビューは、ECW による初期の支援による成功を基礎とすることによって、将来に向けた持続可能な開発の道筋を作れることを示しています。

私たちは、危機的状況にある 2 億 2200 万人の子どもと思春期の若者に、公平で抱負的な質の高い教育を保障する史上初の世代となる機会を得ています。私たちには、そうする義務があります。私たちの足跡を残し、共に転換点を作るチャンスなのです。私たちがそうすれば、若い彼らもそうするようになるのです。教育を受けることで、彼らは次の世代、次の世代、さらにその次の世代へとバトンを渡していくことができます…

【翻訳前の記事（英語）】

[Make a Mark | Education Cannot Wait](#)

